平成30年度

甲府市立南中学校

学　校　評　価

１	本年度の学校経営の重点	Ｐ　１
	学校経営方針	Ｐ　２
２	生徒アンケートから	Ｐ　３
３	保護者アンケートから	Ｐ　５
４	教職員アンケートから	Ｐ　７
５	成果と課題	Ｐ　９
６	学校関係者評価会議	Ｐ１１
７	来年度の改善事項	Ｐ１２

平成31年2月25日

甲府市立南中学校

校長　　加藤　新吾

１　本年度の学校経営の重点

〈学校教育目標〉　**心豊かで、主体的に行動できる生徒の育成**

〈重点目標〉　基礎的、基本的学力の定着を図る。

めざす教師像
- ○学び続ける教師
- ○情熱・使命感・誇り愛情・責任感のある教師
- ○信頼される教師
- ○生徒の良さを認め伸ばすことができる教師
- ○持てる力を存分に発揮できる教師
- ○行動力のある教師

めざす生徒像
- ○目標に向かって努力する生徒
  - ・熱心に授業に参加する生徒
  - ・進んで家庭学習に取り組む生徒
  - ・粘り強く取り組む生徒
- ○礼儀正しく思いやりのある生徒
- ○心身共に健康で、たくましい生徒

めざす学校像
- ○活力ある学校
- ○きれいな学校
- ○改革を進める学校

たくましい：体と気持ちを含んでいる。
少々の困難にへこたれないで打ち勝つことができる。

主 体 的：取り組むことが決まっていない状況でも、自分で考えて、判断し行動すること。(行動に責任を持つことも含む)

具体的な取り組み

- ○わかる授業の展開
- ○積極的授業公開
- ○教材研究・授業研究・生徒理解に時間をかける
- ○生徒の努力や取り組みを認め、ほめる
- ○課題解決の方策を考え、検討し実践する

- ○学習の準備、チャイム着席の徹底
- ○体験活動を取り入れた授業の実践（各教科、年間に一度は実施）
- ○互いに学び合う場の設定（グループ学習、ペア学習など）
- ○あいさつ運動の実施（月に１度）
- ○青少年赤十字活動の継続・実践
- ○合唱・演劇・応援の継続
- ○部活動の活性化
- ○あいさつの定着

- ○学校だよりの発行（ＨＰへの掲載）
- ○ＰＴＡ奉仕作業の実施（夏休み 生徒も参加）
- ○学校評価の実施と結果に基づいた改善
- ○組織マネジメントを確実に実行する

教育理念

- ○教職員の特性を活かした教育活動を推進する
- ○体験を重視した教育活動を実践する

学校経営の努力点

- ○生徒理解に努める『目配り・気配り・心配り』
- ○判断基準を「南中の生徒にとって是か非か」に置く
- ○学年職員を中心とした組織力で、教育活動に取り組む
- ○不易なものは継続し、改善点は改善する。
- ○命を大切にする授業（ガン教育を含む）を実践する。

学校経営方針

１　「生きる力」育む教育課程の編成と実施に取り組む

○学区内の小学校との連携強化に積極的に取り組み、指導内容や指導方法について共通理解し教育課程の改善を行う。

○キャリア教育の目標を実現させるため職業講話や職場体験、事前事後指導、職場体験日３日を確保し質的・量的向上を図る。

○支援を必要とする生徒にきめ細かく対応する。

２　確かな学力の育成に取り組む

(１)校内研究の充実

○生徒の学習意欲を引き出す魅力ある授業づくりを実践する。

○基礎的・基本的内容の確実な定着とそれを活用する力を育成する。

○見通しと振り返り、自力解決、学び合いの甲府スタイルの授業を確立する。

(２)家庭学習の推進

○生徒の実態に即した家庭学習の一層の推進を図る。

○授業と家庭学習が結びつくように工夫する。

○宿題と自主的な学習など質量を工夫する。

３　実効性の高い生徒指導に取り組む

○生徒理解や居場所づくりに努め、集団活動を通して心のふれあいを深め、いじめや不登校，暴力行為等のない楽しい学校生活の実現を図る。

○迅速で生徒に寄り添った誠意ある対応を行う。

○スクールカウンセラー、あすなろ学級、関係諸機関との連携を図る。

○道徳の確実な実施と「特別の教科　道徳」の実施に向け全体計画を作成する。

○甲府市重点目標「思い遣る心」の具体的実践に取り組む。

４　健康、体力の向上に取り組む

○基本的生活習慣の確立と生涯を通じて健康で安全な生活を送る実践力を育てる。

○運動やスポーツを積極的に推進し進んで運動を実践し、体力の向上を図る。

５　信頼される学校づくりの推進に取り組む

○成果と課題を明確にし、具体的改善に結びつく学校評価を実施する。

○ていねいな情報発信とより積極的な学校公開を行う。

○安全管理・危機管理体制を確立する。

○ＰＴＡ活動の活性化を図る。

教育課程編成の基本的な考え方

（１）教育目標具現のため、教科･道徳・特別活動・総合的な学習の時間及びその他教育活動との調和を図り、「生きる力」を育む教育課程の編成と実施に努める。

（２）地域や学校の実態、生徒の心身の発達段階や特性などを十分考慮する。

（３）基礎的・基本的な内容の確実な定着を図る授業を工夫し、個性を生かす教育の充実を図る。

（４）行事予定を計画的に配置し、バランスのとれた運営を行う。

２　生徒アンケートから

Ｈ３０生徒アンケート集計結果（単位%）

在籍数1年	178	回答数1年	167		
2年	162	2年	155		
3年	151	3年	140		
全校在籍数	491	回答数	462	回収率	94%

網掛け表示はＡＢの９０％以上（高い評価）・ＣＤの１０％以上（低い評価）

A＝４点、B=３点、C=２点、D=１点で平均値を算出

NO	評価項目	A %	A 実数(人)	B %	B 実数(人)	C %	C 実数(人)	D %	D 実数(人)	平均値（点）	無回答
1	学校生活は楽しいですか。	55	256	34	156	8	39	2	11	3.4	0
		89				11					
2	友達と仲良く生活することができましたか。	69	318	28	130	3	12	0	2	3.7	0
		97				3					
3	困ったときに相談できる人がいますか。	58	266	31	143	8	36	4	17	3.4	0
		89				11					
4	先生は、親身になって話を聞いたり、勉強を教えてくれたりしましたか。	63	290	31	144	5	22	1	6	3.6	0
		94				6					
5	学校で学習にしっかり取り組むことができましたか	61	280	33	153	5	23	1	6	3.5	0
		94				6					
6	家庭で学習にしっかり取り組むことができましたか	37	173	43	197	16	74	4	18	3.1	0
		80				20					
7	学年・学級の活動（係分担、そうじ）で、自分の役割をしっかり果たすことができましたか。	69	320	27	127	2	10	1	5	3.6	0
		97				3					
8	学校の決まりや約束ごとが守れていますか。	71	328	25	115	3	12	2	7	3.7	0
		96				4					
9	あいさつをしっかりし、思いやりをもって生活することができましたか。	65	299	32	147	3	12	1	4	3.6	0
		97				3					
10	生徒会活動（委員会）や部活動に積極的に参加できましたか。	66	307	25	115	6	30	2	10	3.6	0
		91				9					
11	伝統的な文化活動（応援・演劇・合唱）に積極的に取り組みましたか。	73	339	22	102	3	14	2	7	3.7	0
		95				5					
12	奉仕活動に積極的に取り組みましたか。	52	239	36	165	10	44	3	14	3.4	0
		87				13					

Ａ：そう思う	肯定的
Ｂ：ややそう思う	肯定的
Ｃ：ややそう思わない	否定的
Ｄ：そう思わない	否定的

生徒アンケート分析

1	△	多くの生徒は南中学校学級、学年、生徒会活動、部活動等で充実した楽しい学校生活を送っている。しかし、約１割の生徒はＣ、Ｄとしている。生活面、学習面において早期に原因を把握し対処していく。
2	○	ほとんどの生徒が友達と仲良く学校生活を送っている。人との関わりを深める活動を、今後もできるだけ取り入れていく。また３％、１４人の生徒について原因を考え対応していく。
3	△	困ったときに人を頼れることも大切な能力の一つととらえる。多くの生徒と交わる中で「人間関係形成能力」「社会形成能力」を育んでいく。
4	○	生徒の個々の問題にていねいに相談に乗りながら、信頼関係を維持する努力をしてきた。今後も継続していくとともに。学習面に関しても個別に応じた学習指導にも力を入れていく。
5	○	落ち着いた学習環境の中で、集中してよい授業がきるよう取り組んできた。校内研究でも取り組み、「やまなしスタンダード」「甲府スタイル」の視点を参考に、今後も最優先で学習環境づくり、授業内容の定着に向けて最大限の努力をしていく。
6	△	家庭学習の習慣化を図るために、自主学習ノートの活用方法の工夫、指導に取り組んできた。生活習慣、宿題のあり方などあらゆる方策を探りながら家庭と連携した有効な取り組み方法を工夫していく。８がつく日の「家庭学習振り返りの日」も各クラスで有効に取り組んでいた。
7	○	ＪＲＣ委員会については大変意欲的に取り組んでいる。学級、学年の係活動についても意欲的に取り組み責任を果たしている。清掃活動についても熱心に活動している。
8	○	学校のきまりを守ることに対して、生徒の自治的な取り組みや教師の一人ひとりに応じた指導が成果をあげている。また、上級生を中心に多くの生徒がより良い南中学校を創っていこうという気概を持って生活している。
9	○	生徒会によるあいさつへの取り組みや部活動等による礼儀指導で、あいさつがしっかりできる生徒が多い。読書活動、ボランティア活動、ＪＲＣ委員会等の心を育てる活動が充実している。
10	○	学校、学年、学級内においても生徒会活動やＪＲＣ委員会の活動が主体的に意欲的に行われている。部活動においても多くの生徒が意欲的に活動している。　いずれも、上級生のリーダーを中心に先輩が後輩の良い見本になり目標となっている。
11	○	生徒たちは，良き伝統として誇りを感じて，一生懸命取り組んでいる。
12	△	生徒会活動やＪＲＣ委員会を中心に積極的にボランテイア活動が展開されている。あさがお運動やクリーンアップ大作戦など意欲的に活動している。

３　保護者アンケートから

Ｈ３０保護者アンケート集計結果（単位％）

在籍家庭数1年	175	回答数1年	159		
2年	155	2年	139		
3年	126	3年	107		
全校在籍家庭数	456	回答数	405	回収率	89%

網掛け表示はＡＢの９０％以上（高い評価）・ＣＤの１０％以上（低い評価）

A＝４点、B=３点、C=２点、D=１点で平均値を算出

NO	評価項目	A %	A 実数(人)	B %	B 実数(人)	C %	C 実数(人)	D %	D 実数(人)	平均値(点)	無回答
1	平成３０年度の学校の経営方針は、妥当だったと思いますか。	26	105	**70**	282	4	18	0	0	3.2	0
		96				4					
2	生徒たちは、明るく楽しい学校生活を送っていると思いますか。	33	133	58	234	9	37	0	1	3.2	0
		91				9					
3	本校の教師は、熱心に日常の教育活動に取り組んでいると思いますか。	27	111	58	236	13	54	1	4	3.1	0
		86				**14**					
4	学習指導の充実や学力向上についての取り組みは、適切に進められていると思いますか。	22	88	58	236	19	77	1	4	3.0	0
		80				**20**					
5	思いやる心を育てるなど、道徳性を高める取り組みは、適切に進められていると思いますか。	22	89	**67**	273	10	40	1	3	3.1	0
		89				**11**					
6	健康づくり・体力づくりへの取り組みは、適切に進められていると思いますか。	25	100	**69**	281	6	23	0	1	3.2	0
		94				6					
7	社会性や自主性を高める取り組みは、適切に進められていると思いますか。	22	91	**67**	272	10	40	0	2	3.1	0
		90				**10**					
8	生徒に寄り添った支援、問題対応など、生徒指導の取り組みは、適切であると思いますか。	22	90	59	240	16	66	2	9	3.0	0
		81				**19**					
9	交通安全や防犯・防災のための取り組みは、適切であると思いますか。	32	131	**63**	255	4	18	0	1	3.3	0
		95				5					
10	環境設備や施設設備の改善のための取り組みは、適切であると思いますか。	29	118	**65**	263	5	22	0	2	3.2	0
		94				6					
11	南中学校は、「特色ある学校づくり」に取り組んでいると思いますか。	33	135	60	243	6	25	0	2	3.3	0
		93				7					
12	南中学校は、情報発信など「開かれた学校づくり」に取り組んでいると思いますか。	25	101	**67**	270	8	31	1	3	3.2	0
		92				8					
13	今年度のＰＴＡ活動は、内容や組織など適切であると思いますか。	25	101	**67**	270	8	31	1	3	3.2	0
		92				8					

Ａ：そう思う	肯定的
Ｂ：ややそう思う	肯定的
Ｃ：ややそう思わない	否定的
Ｄ：そう思わない	否定的

保護者アンケート分析

1	○	学校の経営方針については、理解していただいている。
2	○	ほとんどの保護者は子どもが楽しく学校生活を送っていると感じている。
3	△	概ね本校の教師は熱心に教育活動に取り組んでいると評価されている。しかしながら、C、Dの評価を１４％、５８人がしていることについて、より一層生徒に寄り添った指導を実践し、保護者と密に連携して不安な点がないようにしていく。
4	△	確かな学力を身につけさせるための手立てとして、ひとりひとりの教師が教材研究を深め、授業技術を磨くことが必須である。また、校内研究を生かし教育実践力を高めることも求められている。さらに、必要に応じた個別指導も取り入れていく。
5	△	特別の教科「道徳」の実施を見据えて、道徳の授業、諸活動、行事を通して、総合的な実践をしていく。本校の道徳教育重点目標を中心に生きた道徳力を身につけさせていきたい。
6	○	保健・体育を柱として、全体にわたり健康、体力を向上させる取り組みがなされている。また、保健指導もタイムリーかつ迅速に行われている。
7	△	様々な教育活動を通じて人とのつながりをつくれるように、社会性、主体性を育成していくことをさらに心がけていく。縦割り活動は本校の伝統であり、誇れる点でもある。
8	△	概ね生徒に寄り添った生徒指導が行われていると評価されている。しかし、１９％、７５人の保護者にとってはC、D評価となっている。より一層、学年内、学校間で共通理解を図り全職員で全生徒を指導、支援する学校体制を強化して行く。また、保護者と連携し、理解と協力を得ながら進めていく。
9	○	防災訓練、引き渡し訓練、通学路点検ＰＴＡによる登校指導など、安全や防災に対する取り組みは評価されている。今後も継続して取り組んでいく。防災訓練の見直しなど改善を重ねながら、安全や防災への意識を高め、保護者、地域と協力して取り組んでいく。
10	○	市当局とも連携しながら、可能な限りの学習環境の整備に取り組んでいく。
11	○	応援・演劇・合唱などの伝統ある活動の充実と発展に取り組み、継続して成果の発信に努力する。可能な限り、保護者に参観していただけるような計画を立てる。
12	○	学校たより、学年便り等の発行、ホームページの更新について評価されている。よりきめ細やかな情報発信に努めたい。行事等への保護者の積極的な協力等”開かれた学校”を理解していただいている。
13	○	伝統ある活動が役員による自主的な運営で行われている。継続を力にして続けていく。

４　教職員アンケートから

Ｈ３０教職員アンケート集計結果（単位%）

在籍数　38　　回答数　38　　回収率　100%

網掛け表示はＡＢの９０％以上（高い評価）・ＣＤの１０％以上（低い評価）
A＝４点、B=３点、C=２点、D=１点で平均値を算出

NO	評価項目	A %	A 実数(人)	B %	B 実数(人)	C %	C 実数(人)	D %	D 実数(人)	平均値(点)
1	学校の経営方針が理解され、それを実現するための努力がされていると思いますか。	58	22	42	16	0	0	0	0	3.6
		100				0				
2	子どもたちは、明るく楽しい学校生活を送っていると思いますか。	32	12	**66**	25	3	1	0	0	3.3
		97				3				
3	教職員としての責務（服務・勤務・研修）を果たし、連携・協調した取り組みが進められていると思いますか。	39	15	47	18	13	5	0	0	3.3
		87				**13**				
4	研究テーマを意識し、確かな学力を育む取り組みが確実に行われていると思いますか。	42	16	55	21	3	1	0	0	3.4
		97				3				
5	道徳の授業や具体的な実践活動を通して、心を育てる教育が進められていると思いますか。	50	19	45	17	5	2	0	0	3.4
		95				5				
6	健康づくり・体力づくりへの取り組みが確実に進められていると思いますか。	26	10	**66**	25	8	3	0	0	3.2
		92				8				
7	部活動、生徒会活動等を通して、社会性や自主性を高める取り組みが進められていると思いますか。	34	13	**61**	23	5	2	0	0	3.3
		95				5				
8	学級・学年目標の達成に向けた学級・学年づくりの取り組みが進められていると思いますか。	61	23	34	13	5	2	0	0	3.6
		95				5				
9	共通理解のもと、組織的な生徒指導が行われていると思いますか。	29	11	39	15	32	12	0	0	3.0
		68				**32**				
10	交通安全教育、防災・防犯教育等、子どもの安全確保に配慮した取り組みが進められていると思いますか。	58	22	39	15	3	1	0	0	3.6
		97				3				
11	環境整備や施設改善の充実に向けて取り組まれていると思いますか。	61	23	39	15	0	0	0	0	3.6
		100				0				
12	「特色ある学校づくり」に向けた取り組みが進められていると思いますか。	39	15	50	19	11	4	0	0	3.3
		89				**11**				
13	「開かれた学校づくり」に向けた取り組みが進められていると思いますか。	29	11	**63**	24	8	3	0	0	3.2
		92				8				
14	ＰＴＡ活動の組織や事業内容は適切であると思いますか。	29	11	58	22	13	5	0	0	3.2
		87				**13**				

Ａ：そう思う	肯定的
Ｂ：ややそう思う	肯定的
Ｃ：ややそう思わない	否定的
Ｄ：そう思わない	否定的

教職員アンケート分析

1	○	学校長の学校経営方針を全教職員が共通理解し、実現に向けて努力している。
2	○	ほとんどの生徒が元気よく学校生活を送っているととらえている。問題を抱える生徒に対しても、教師が寄り添い、可能な限り信頼関係を構築しようとしていた。
3	△	教師相互の高め合いや成長をめざした協働的な意識をもとに、専門家として職責を遂行するために、絶えず研修に努め、協働して仕事を進められる体制を今後さらに強いものにしていきたい。
4	○	研究の目標や内容を具体的にすることで実践的な研究が行われた。新学習指導要領をふまえ、グループによる話し合い活動や家庭学習の改善等、学力の向上につながっていた。
5	○	新しい教科「道徳」を見据えた学習会や研究会。学校の特色を活かした活動（部活動・応援・演劇・合唱・ボランティア・ＪＲＣの活動等）や生活のあゆみの活用を充実させ、様々な活動の中で道徳教育重点目標にせまることができた。
6	○	保健指導や食教育、救急法講習会等の健康・安全に関する取り組みを通して健康づくりを行った。また、体育の授業、部活動による体力づくりに取り組むことができた。
7	○	部活動や生徒会活動は活発に行われている。生徒の主体性や創造性、向上心を育むような取り組みを行い、先輩が範を示す中で、個人や集団の成長が見られた。
8	○	それぞれの学級や学年で、目標を意識させ、課題を解決する取り組みが職員の共通理解のもとに有効になされており成果をあげることができた。
9	△	生徒指導主事を中心に、生徒に寄り添った生徒指導を心がけた。学校としての指導方針、学年内、学年間の共通理解を強化し、全校生徒に対して予防的な生徒指導、支援を全校職員で行う体制を図る。
10	○	自転車の安全点検、防災訓練、引き渡し訓練、通学路の危険個所点検、ＰＴＡによる登校指導など防災・安全の実践ができた。
11	○	特別教室やグラウンド、倉庫の整備、机やいすの整備、破損箇所の修繕などを計画的にすすめることができた。
12	△	伝統ある応援、演劇、合唱、ＪＲＣ活動、部活動等に教師と生徒が積極的に取り組んできた。どの活動においても、先輩が後輩を指導する光景は南中の誇れる伝統になっている。
13	○	学校だより、学年たよりをはじめとする各種たより等により情報発信をしてきた。また、ホムページを更新した。行事等への保護者の積極的な協力等”開かれた学校”を心がけてきた。
14	△	ＰＴＡ活動についてはバランスをとりながら、行事や活動内容を見直しも必要である。今まで同様に教職員も活動をサポートしていきたい。

５　成果と課題

①学校経営について

学校経営方針を明確に示し教師の意思統一が図られていることがうかがえる。本校の教育活動の方向や内容は満足できる評価となっている。しかし、生徒については、約１割の生徒が「学校が楽しい」についてＣＤの結果となっている。学習面も含めて早期に原因を把握し対処していかなければならない。また、教師相互の高め合いや成長を目指して、協働して仕事を進められる体制を今後さらに強いものにしていきたい。

②学力向上・学習指導について

家庭学習の習慣化に課題があると考えられる。クラス、学年で取り組みを行っているが、「学習の量」と「学習の質」へのステップが課題である。今年度、校内研究でも取り組んできたが学習支援の方法を考えていかなければならない。授業については、新学習指導要領の試行に向けて「授業改善をすすめ、生徒が主体的にどう取り組むか」について取り組んでいきたい。保護者アンケートから「教師が熱心に教育活動に取り組んでいるか」「学習指導、学力向上について適切に進められているか」についてＣＤの結果がやや目立つ。

③生活面について

「困った時に相談できる人がいない」生徒が少数いた。何に困ったのかを明確にし、教員が対応したり友達に相談できるように、普段から全員の生徒に全員の職員で目と気を配っていく。また、事案によっては外部機関との連携で対応していくことも考えていく。生徒アンケートから生徒指導の充実があげられるが、保護者、教職員からはＣＤがやや目立つ。学年間の共通理解を強化し、全校生徒に対して予防的な生徒指導、支援を全校職員で行う体制をつくっていく。さらに、生徒に寄り添いながらきめ細かな指導をさらに向上させていくことが求められている。生徒指導は、教育活動全般であらゆる場面で行われ、学級経営、学年単位、学校単位で共通理解を進め、学校全体が一つの方向性をもって活動することを確認したい。また、教職員は“学校をよくしたい”というやる気を持っている。そのやる気を持ち続けながら、主体性を持った日々の教育活動を向上させていきたい。

④防災・安全指導について

良好な結果となっている。通学路の危険個所点検、ＰＴＡによる登校指導など防災・安全に関して効果的な実践ができた。また、予算との関わりがあるが、可能な限り学習環境の整備にも取り組んでいく。

⑤特色ある学校づくりについて

本校の伝統であるＪＲＣ活動、応援、演劇、合唱活動について上級生が大変素晴らしいリーダーシップを取り、見本となって全校体制で成果を残した。

⑥開かれた学校・ＰＴＡ活動について

学校だより、学年だより、学級通信、ホームページの更新など可能な限り情報を発信してきた。また、ＰＴＡ活動も伝統のひとつであり、本年も大変活発に行われた。

⑦総　評

全体的に、教師と生徒の間には良好な関係が保たれている。日頃の教育活動の取り組みや生徒への働きかけが、生徒の居場所づくりと学校生活の充実につながっていると思われる。学校生活を肯定的に捉え、悩みや辛いこともあるが自信を持って「楽しい」と感じる生徒を増やしていきたい。

健康安全に対する取り組みは日々行っており、高い評価となっているがより改善しながら高めていきたい。保護者や地域と連携を深め、協力を得ることが大切である。その中で、日頃の教育活動が充実したものになるようにさらに努力していきたい。

ＪＲＣ活動の理念を基盤にして諸活動に取り組んでいる。特色ある学校づくりとして「応援」「演劇」「合唱」「部活動」を充実させ、「思いやる心の育成」に励んできた。来年度はさらにより良い学校の実現につなげ生徒の自治活動への取り組みを進め、今までの継続の上に更なる成果を上げられるようにしたい。

６　学校関係者評価会議

実施日　平成３１年２月２２日（金）　午後５：００～午後６：００

会　場　甲府市立南中学校　校長室

参加者　〔学　校〕　校長　加藤新吾　　教頭　深澤一英　　教頭　三澤明生
主幹教諭　大森竹仁
〔評議員〕　三井玲子　　樋口孝治　　石原恭子
〔ＰＴＡ会長〕　中島　智子

Ⅰ　学校側から提案した内容

１　「生徒アンケート」の分析結果について
２　「保護者アンケート」の分析結果について
３　「教職員アンケート」の分析結果について
４　「学校として改善していくこと」について

Ⅱ　学校評議員からの意見　感想

全体的評価

○生徒アンケート，保護者アンケートから，肯定的な評価が多く，学校生活も落ち着いている様子がうかがえる。
○生徒と教師が良好な関係にあることわかる。
○生徒の「自分の役割をしっかり果たすことができた」「きまりや約束が守れている」「あいさつ，思いやりをもって生活することができている」の評価が非常に高い。友達と協力してやるべきことを当たり前にできることは素晴らしいい。そのことが，南中学校を誇りに思う気持ちにつながっていると思われます。

○「伝統的な文化活動（応援，演劇，合唱）」は，南中学校の柱として今後も継続するべきだと感じます。
○今後も，学力面，いじめ問題等の取り組みを含め，先生方全体で，行き届いたサポートをよろしくお願いします。

Ⅲ　各項目から

（１）保護者，生徒について

○保護者は，「本校の教師は，熱心に日常の教育活動に取り組んでいると思いますか。」について，１割以上がＣ評価である。また、「生徒支援，問題対応など生徒指導への取組」についてもＣ評価が１割以上ある。生徒アンケートからは，そのように捉えられていないので，どの点で不十分と感じているのかを突き止めればすぐに解決できる点だと思われる。
○生徒の捉え方と,保護者の捉え方に差があるので家庭と協力しながら指導していくとよい。

（２）生徒指導について

○先生方がきめ細かな指導をして下さっている。保護者の協力や努力が必要な家庭もある。
○不登校生徒についても,外部機関を有効に活用しながら丁寧に対応していることが分かる。

（３）学習指導について

○授業の指導法を改善したり，家庭学習の方法等について工夫したりするなどして生徒の意欲喚起，学力向上に努めている。
○学習が遅れがちな生徒に対して，一人ひとりに応じたきめ細かな対応に取り組んでいる。
○スマホの所持率や活用状況が家庭学習に多く影響している。
○学力・学習状況調査や県学力把握調査の結果から，３年生，２年生の学力が確実に向上している。

（４）その他

○ＰＴＡ活動は内容を考慮しながら，無理のないように継続していく。
○部活動や学校行事は，学校を活発にすると同時に生徒の体力向上や礼儀の修得，倫理観の育成に役立つ。継続して部活動に取り組んでいただきたい。
○行事を通して，生徒が成長している。
○上級生が自覚と誇りを持ち，下級生のよい見本になっている。
○先生方が，意欲的に熱心に教育活動に邁進している様子がうかがえる。年配の教員が，若い教員をうまく育てている。
○ホームページで学校の様子がうかがえる。

７　来年度の重点と改善事項

①学校経営について

全生徒にとって魅力があり楽しい学校生活が送れるように、さらに生徒理解に努め、協働して仕事を進められる体制を強いものにしていきたい。

②学力向上・学習指導について

学力向上の取り組みを継続して行う。新学習指導要領の試行に向けて「授業改善を進め、生徒が主体的にどう取り組むか」について取り組んでいく。さらに、家庭学習の習慣化と「学習の量」と「学習の質」の向上について取り組む。

保護者アンケートから「教師が熱心に教育活動に取り組んでいるか」「学習指導、学力向上について適切に進められているか」について、さらに保護者にも理解していただけるように個別指導や課題の活用など、それぞれの生徒に応じた丁寧な指導をしていく。また、集団の底上げについても学年、学校としても手立てを講ずる

思い遣る心の育成を教育課程全体にわたって行う。まず、新しい教科「道徳」に関わって授業の充実を図り、他を思い遣る心の育成を目指す。また、評価の試行など研究を重ねていく。

③生活面について

全員の生徒に全員の職員で目と気を配っていく。学年間の連携を強化し共通理解を図り、学校全体が同じ方向性をもって全校生徒に対して予防的な生徒指導､支援を全校職員で行う。不登校生徒への支援をより一層きめ細かく行い、少しでも学校とつながれるような指導、支援を行っていく。特別支援コーディネーターや自立支援カウンセラーを有効に活用して、生徒や保護者に働きかけていく。

④防災・安全指導について

安全教育、防災に関する学習を行う。自分の体は自分で守れるように保健指導や体力づくりに努める。

⑤特色ある学校つくりについて

本校の伝統であるＪＲＣ活動、応援、演劇、合唱活動を核とする表現活動を活発に行う。

⑥開かれた学校・ＰＴＡ活動について

可能な限り情報発信に努める。保護者と連携して懇談会やＰＴＡ活動を活発に行う。

⑦全体的として

全職員が学校経営の重点を常に意識して教育にあたる。

学力向上を第一に考え、学習面に関して意欲的に授業に参加する生徒を目指す。特別に支援が必要な生徒については、個別指導等を行って学力の定着を図る。

全職員が全生徒に寄り添い、何でも話せる人間関係を築く。